

◎ 第19回研究会は大阪歯大、川原春幸氏の御世話によりました。参集した会員数42名、会員外98名で盛会でした。会場が立派すぎて開放な入りの感じになりましたが、スライド映写効果は川原氏が御自慢なさるだけのことはありました。

◎ 第20回組織培養学会は、伝研 勝田雨氏の御世話で、10月中旬東京に於てひらかれる予定です。シンポジウム演題“癌と組織培養”

◎ 東地区幹事、勝田雨、奥村秀夫、佐藤温重、高岡聡子、西地区幹事、黒田行昭、佐藤二郎、喜多村勇、高木良三郎の方々が相談の結果、次の事が決りました。①ビブリオグラフィーの学会発表抄録の後に、発表の時座長を務められた方々のコメントを載せる。

理由は、討議修正され又、新しい方向づけのなされた場合等を改めず、正確を期するため。

◎本年を以て、日本組織培養学会は10周年を迎えることとなりました。

記念事業を何かしたいものですが、此の会員通信もその一つとして始めることになりました。

◎ 新入会員は、生年月日の御記入をお忘れなく

40才以上は幹事に選挙される資格をもたぬからです。今回の新入会員は次の諸氏です。松本雄雄

(武田薬品研究所) 堀良儀彦(奈良医大病理)

本田昭博(東邦大産婦人科) 橋本長(東邦

大解剖) 葛西四郎(東京歯科大生理)

◎ 岡村和弘、安野洋一、吉田淳、外松茂太郎

以上諸氏の住所を御存知の方は、品川区上大崎長者丸予研、奥村秀夫氏迄御連絡下さい。第18回研究会場で、会員外にも拘らず会費を納入なさった諸氏です。返金致します。

◎ Tissue culture studies in Japan. The annual. Bibliography, 1964, 出版案内がお届けしてあります。会員、非会員を問わず、発表論文、学会報告、何れもお送り下さい。

第17、18回研究会発表の講演要旨は、天々井上幸重氏、吉田俊秀氏宛お送り下さい。

◎ 歯科領域における組織培養の応用。之は文部省の総合研究班の題名ですが、歯科領域でも大いに組織培養が活用されて居ります。歯科基礎医学会の中にParametingの形をとりながら組織培養のつどいを1962年以来、年1回づつもたれて居ります。

(個人通信)

◎ International Academy of oral pathology-3rd International conference (sept.1-4, 1965)に出席のため大阪歯大、川原春幸氏がメルボルンに行かれます。

biological test of dental materials by means of tissue culture in vitroが、彼地で高く評価されて居ります。

◎ 培養学会のあり方について又個人通信等お寄せ下さい。

文責 喜多村・佐 歴